令和３年度　専門職大学院法務研究科（法科大学院）（C 日程）

小論文（未修者）

注 意 事 項

以下をよく読んで，間違いのないように受験してください。

１．試験開始の合図があるまで，問題を開かないでください。

２．この問題冊子の 3～4 ページに問題が掲載されています。落丁，乱丁，印刷不鮮明などの箇所がある場合には申し出てください。

３．解答用紙は（そのⅠ）・（そのⅡ）の合計２枚です。解答用紙の追加は認めません。

４．試験開始の合図があったら，すべての解答用紙に受験番号を記入してください。

５．解答は必ず解答用紙の所定の場所に記入してください。

６．解答用紙には，黒鉛筆（シャープペンシル可）の他，黒または青の万年筆・ボールペンを使用してもかまいません。

７．文字ははっきり，ていねいに書いてください。解答の文字が読みにくい場合，点を与えないことがあります。

８．試験中，使用していない解答用紙は机の上に裏返しにしてください。

［このページは空白です。］

小論文（配点 100 点）

次の文章は、後藤正治「五輪は永続しうるか」から一部省略した上で抜粋したものである。これを読んで、以下の設問に答えなさい。

問題文

1．文章の下線部（その過程で私たちは何かを失っていったのだろう）について、私たちが失った内容について具体的に説明しなさい。なお、解答は解答用紙（そのⅠ）に行うこと。

（配点：40 点）

2．文章後半の二重下線部に、「五輪は元来、高邁な理念と現実の乖離という偽善を併せもつが、それなりに人類の共通遺産となってきた」とある。筆者がそのように考える内容を具体的に説明しなさい。なお、解答は解答用紙（そのⅡ）に行うこと。

（配点：60 点）